

プレスリリース

2018年10月18日、ヴェヴェー発



ネスレ S.A. 2018 年 第 3 四半期までの売上を報告

- オーガニックグロースは 2.8%。内訳は実質内部成長率が 2.3%とプライシングが 0.5%で私たちの予測に合致。
- 売上は 2.0%増の 664 億スイスフラン(2017 年 1-9 月:651 億スイスフラン)。事業買収が売却との相殺で売上を 0.1%押し上げた一方、為替変動の売上への影響はマイナス 0.9%。
- より魅力のある高成長カテゴリー群への事業ポートフォリオの転換はさらに前進。ネスレはスターバックスの小売用・業務用製品について無期限のグローバルライセンスを取得。Gerber 生命保険事業の売却について合意に達し、ネスレ スキンヘルスに関しては戦略的な選択肢の検討を開始。
- 2018 年通年の見通しを再確認: オーガニックグロースは 3%程度、基礎となる資産ベースでの営業利益率の改善見通しは 2020 年の目標に合致。組織再編の費用^(注1)は約 7 億スイスフランと予想。基礎となる資産ベースでの一株当たりの利益は為替変動の影響を除いた実質ベースで改善、資本効率も改善の見通し。

ネスレ CEO マーク・シュナイダー:「ネスレは、私たちが推進する価値創造への進捗を自負しています。本年第 3 四半期までの売上はほとんどの地域と製品カテゴリーが力強い成長を遂げたことを示しています。北米と乳幼児用栄養カテゴリーが世界的に回復の兆しを見せ、中国での事業は一桁台半ばの成長を持続しています。ネスレの成長は確実な計画実行と加速するイノベーションに支えられています。事業ポートフォリオ管理においては重要な節目に到達し、特にスターバックスとの合意後の手続きが迅速に完了したことをうれしく思っています。多様なコスト削減プログラムでもかなりの進捗がありました。成長と効率化プログラムにより、2018 年の見通し、そして 2020 年の目標達成に向けて順調に進んでいます。」

注1: 固定資産の減損、訴訟費用、有償契約は含みません

	グループ 事業合計	ゾーン AMS	ゾーン EMENA	ゾーン AOA	ネスレ ウォーターズ	その他の 事業
売上2018年1-9月 (100万スイスフラン)	66,424	21,918	13,731	15,799	6,127	8,849
売上2017年1-9月 (100万スイスフラン)	65,124	22,569	13,241	15,331	6,093	7,890
実質内部成長率(RIG)	2.3%	0.8%	2.3%	3.7%	-0.2%	5.7%
プライシング	0.5%	0.6%	-0.7%	0.7%	2.3%	0.3%
オーガニックグロース	2.8%	1.4%	1.6%	4.4%	2.1%	6.0%
買収・売却	0.1%	-1.1%	-0.1%	0.0%	-0.8%	5.4%
為替変動	-0.9%	-3.2%	2.2%	-1.3%	-0.7%	0.7%
売上伸長率	2.0%	-2.9%	3.7%	3.1%	0.6%	12.1%

* 2018年1月1日から、ネスレニュートリションは地域管轄の事業として各ゾーンに含めて報告し、Gerber生命保険事業はその他の事業に含めて報告しています。比較する2017年の売上は、主に上記の事業の管轄の変更と、IFRS(国際会計基準)第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用に伴う収益計算に関する新たな会計基準を反映するため修正しています。

グループ全体の業績

オーガニックグロースは2.8%で、第3四半期は前年同期の好調にもかかわらず2.9%に達しました。実質内部成長率は2.3%で食品飲料業界における高い水準を維持しました。プライシングは0.5%上昇、南北アメリカで改善しました。第3四半期には、北米、そして乳幼児栄養製品で世界的にオーガニックグロースの改善が継続しました。中国は一桁台半ばの成長を維持しました。ゾーンヨーロッパ・中東・北アフリカ(EMENA)の成長は減速しましたが、これは主に前年同期が好調だったことによるものです。すべてのカテゴリーがプラス成長でしたが、けん引したのは、コーヒー、「ピュリナ」ペットケア、乳幼児栄養製品とネスレヘルスサイエンスでした。

Atrium Innovations社の買収、スターバックスの販売権取得などの事業買収は、売却(主に米国の菓子事業)により相殺され、事業の買収と売却の相殺の売上への影響は0.1%でした。為替変動は、いくつかの新興国市場の通貨がスイスフランに対して下落したことが響き、マイナス0.9%の影響を及ぼしました。報告ベースの総売上は2.0%増の664億スイスフランでした。

ゾーン 南北アメリカ(AMS)

- オーガニックグロース 1.4%、実質内部成長率 0.8%、プライシング 0.6%
- 北米は、実質内部成長とプライシングの双方が貢献し、プラスのオーガニックグロースを記録しました。
- 中南米は、実質内部成長とプライシングが徐々に改善し、オーガニックグロースはプラスでした。

	売上 2018年1-9月	売上 2017年1-9月	実質 内部成長率	プライシング	オーガニック グロース	買収・売却	為替変動	売上伸長率
ゾーン	219億	226億	0.8%	0.6%	1.4%	-1.1%	-3.2%	-2.9%
AMS	スイスフラン	スイスフラン						

オーガニックグロースは 1.4%で、内訳は実質内部成長率が 0.8%、プライシングが 0.6%でした。事業買収と売却の相殺が売上 1.1%減少させましたが、そのほとんどは米国の菓子事業の売却によるものでした。為替変動は売上にマイナス 3.2%影響しました。ゾーン AMS の報告ベースの売上は 2.9%減の 219 億スイスフランでした。

北米の 1-9 月期はプラスのオーガニックグロースとなりました。プライシングは原材料費と輸送費の高騰を反映して第3四半期に上昇しました。「ピューリナ」ペットケア、*Coffee-mate* クリーマーとコーヒーが特に e-コマースで順調な成長を維持しました。アイスクリームは *Häagen-Dazs* と *Outshine* の貢献により、第3四半期には一桁台半ばの成長を示しました。

中南米はプラスのオーガニックグロースで、第3四半期は一桁台半ばまで加速しました。厳しい事業環境にもかかわらず、ブラジルは第3四半期にプラス成長へと回帰しました。メキシコは「ネスカフェ」の好調をはじめ、ほとんどのカテゴリーが貢献して一桁台半ばのオーガニックグロースとなりました。「ピューリナ」ペットケア、菓子事業、プロフェッショナル事業が地域全体で強い勢いを維持しました。

ゾーン ヨーロッパ・中東・北アフリカ(EMENA)

- オーガニックグロース 1.6%、実質内部成長率 2.3%、プライシング -0.7%
- 西ヨーロッパは、プラスの実質内部成長率がマイナスのプライシングで相殺され、オーガニックグロースはわずかながらマイナスとなりました。
- 中央、東ヨーロッパは、力強い実質内部成長と前年同期から前年並みの一桁台半ばのオーガニックグロースでした。
- 中東、北アフリカ地域は、実質内部成長率とプライシングがそれぞれプラスで一桁台半ばのオーガニックグロースを維持しました。

	売上 2018年1-9月	売上 2017年1-9月	実質 内部成長率	プライシング	オーガニック グロース	買収・売却	為替変動	売上伸長率
ゾーン	137億	132億	2.3%	-0.7%	1.6%	-0.1%	2.2%	3.7%
EMENA	スイスフラン	スイスフラン						

実質内部成長率が 2.3%と堅調で、オーガニックグロースは 1.6%となりました。プライシングは西ヨーロッパでのデフレ傾向が継続したため 0.7%下落しました。事業買収と売却の相殺は売上を 0.1%下落させましたが、為替変動は 2.2%の売上増をもたらしました。ゾーン EMENA の報告ベースの売上は 3.7%増の 137 億スイスフランでした。

本ゾーンは、特に西ヨーロッパが低成長の環境にある中、粘り強い実質内部成長をみせました。競争の激しい市場であり、前年同期との比較では不利ながら、「ネスカフェ」はプラス成長を達成しました。「ピューリナ」ペットケア、乳幼児栄養製品、プロフェショナル事業がおもにゾーン全体の成長に貢献しました。これらのカテゴリーのプレミアム製品群、とりわけ *Gourmet* キャットフードと HMOs(ヒトミルクオリゴ糖)を使用した *NAN* 乳児用調整粉乳が好調でした。菓子事業も「キットカット」が健闘しプラス成長を記録しました

アジア・オセアニア・サハラ以南アフリカ(AOA)

- オーガニックグロス 4.4%、実質内部成長率 3.7%、プライシング 0.7%
- 中国は、実質内部成長が下支えして前年をはるかに上回る一桁台半ばのオーガニックグロスを達成しました。
- 東南アジアは、実質内部成長率とプライシングがともにプラスで一桁台半ばのオーガニックグロスでした。
- 南アジアは、力強い実質内部成長とプラスのプライシングで一桁台半ばのオーガニックグロスとなりました。
- サハラ以南アフリカは、堅調な実質内部成長とプラスのプライシングで一桁台半ばのオーガニックグロスでした。
- 日本とオセアニアは、堅調な実質内部成長がマイナスのプライシングに部分的に相殺され、オーガニックグロスは若干のプラスでした。

	売上 2018年1-9月	売上 2017年1-9月	実質 内部成長率	プライシング	オーガニック グロス	買収・売却	為替変動	売上伸長率
ゾーン	158億	153億	3.7%	0.7%	4.4%	0.0%	-1.3%	3.1%
AOA	スイスフラン	スイスフラン						

オーガニックグロスは 4.4%で、内訳は実質内部成長率が 3.7%、プライシングが 0.7%でした。事業買収、売却は売上に影響はありませんでした。為替変動は売上に 1.3%のマイナスの影響をもたらしました。本ゾーンの報告ベースの売上は 3.1%増の 158 億スイスフランでした。

ゾーン AOA は、すべての地域とカテゴリーが支える形で着実に一桁台半ばのオーガニックグロスを達成しました。中国は乳幼児栄養製品、コーヒーと食品の分野でのイノベーションが主導して、一桁台半ばのオーガニックグロスでした。東南アジアはベトナムとインドネシアが「ミロ」と *Bear Brand*で健闘し、堅調な成長ぶりでした。南アジア地域も「マギー」、「ネスカフェ」、「キットカット」に勢いがあり一桁台半ばのオーガニックグロスを記録しました。サハラ以南アフリカの成長は中央・西アフリカ地域での「マギー」と「ミロ」の大きな貢献によるものでした。日本とオセアニアは厳しいビジネス環境にもかかわらず、オーストラリアでの「ネスカフェ」*Gold* と「キットカット」*Gold* の新発売の効果もあってプラス成長でした。ゾーン全体では、乳幼児栄養製品と「ピューリナ」ペットケアが第3四半期に加速して一桁台後半の成長を示しました。

ネスレ ウォーターズ

- オーガニックグロースは 2.1%、実質内部成長率 -0.2%、プライシング 2.3%
- 北米は、実質内部成長はゼロながらプライシングが伸長しプラスのオーガニックグロースでした。
- ヨーロッパは、第3四半期の力強い実質内部成長に支えられオーガニックグロースはプラスに転じました。
- 新興国市場は、プライシングのみがけん引し一桁台低めのオーガニックグロースとなりました。

	売上 2018年1-9月	売上 2017年1-9月	実質 内部成長率	プライシング	オーガニック グロース	買収・売却	為替変動	売上伸長率
ネスレ ウォーターズ	61億 スイスフラン	61億 スイスフラン	-0.2%	2.3%	2.1%	-0.8%	-0.7%	0.6%

オーガニックグロースは 2.1%で、第3四半期は 4.1%に達しました。プライシングは 2.3%の上昇、実質内部成長率は 0.2%下落しました。事業買収と売却の相殺が 0.8%、為替変動が 0.7%、それぞれ売上を押し下げました。ネスレウォーターズの報告ベースの売上は 0.6%増の 61 億スイスフランでした。

米国では包装材料費、流通費の大幅な上昇を受けて 6 月に値上げを実施しました。ネスレの地域湧水ブランドから最近発売された炭酸水シリーズの消費者需要は引き続き堅調で、特に *Poland Spring*, *Ice Mountain*, *Ozarka* が健闘しました。ヨーロッパは *Perrier & Juice* や *Levissima+* 等のイノベーションの後押しもあり、プラス成長に転じました。国際プレミアムブランド、「サンペレグリノ」と「ペリエ」は引き続き一桁台後半の成長を世界的に達成しました。

その他の事業

- オーガニックグロース 6.0%、実質内部成長率 5.7%、プライシング 0.3%
- ネスプレッツォは、南北アメリカとアジアで勢いを見せ一桁台半ばのオーガニックグロースでした。
- ネスレ ヘルスサイエンスは、実質内部成長が堅調で一桁台半ばのオーガニックグロースを記録しました。
- ネスレ スキンヘルスは、高い実質内部成長と前年並みのプライシングで一桁台高めのオーガニックグロースを達成しました。

	売上 2018年1-9月	売上 2017年1-9月	実質 内部成長率	プライシング	オーガニック グロース	買収・売却	為替変動	売上伸長率
その他の 事業	89億 スイスフラン	79億 スイスフラン	5.7%	0.3%	6.0%	5.4%	0.7%	12.1%

6.0%のオーガニックグロースの内訳は、好調な実質内部成長率 5.7%とプライシング 0.3%でした。事業買収は売却との相殺で売上を 5.4%上昇させましたが、その多くは Atrium Innovations 社のネスレ ヘルスサイエンスへの統合によるものでした。為替変動は売上を 0.7%押し上げました。その他の事業の報告ベースの売上は 12.1%増の 89 億スイスフランでした。

ネスプレッツは南北アメリカとアジアでの成長が著しく、一桁台半ばのオーガニックグロースを維持しました。ヨーロッパは厳しい競争環境下で粘りを見せました。第 3 四半期に新たに6市場で Vertuo システムを発売したことがネスプレッツの成長を支えました。3 種類のサイズのカプセルが使える多用途のコーヒーシステムである Vertuo は現在 14 市場で販売されています。ネスレ ヘルスサイエンスはメディカルニュートリションとコンシューマーケア製品の健闘で一桁台半ばの成長を継続しています。Atrium innovation の各ブランドの量販チャネルでの販売が成長の勢いに弾みを付けました。ネスレ スキンヘルスは一桁台後半の成長をみせました。

2018 年見通し

2018 年通年の見通しを再確認いたします。オーガニックグロースは 3%程度、基礎となる資産ベースでの営業利益率の改善見通しは 2020 年の目標に合致したものとなっています。組織再編の費用^(注2)は約 7 億スイスフランと予想しています。基礎となる資産ベースでの一株当たりの利益は為替変動の影響を除いた実質ベースで改善、資本効率も改善の見通しです。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

報道関係者の皆様	担当: Christoph Meier	Tel.: +41 21 924 2200
投資家の皆様	担当: Luca Borlini	Tel.: +41 21 924 38 20

注 2: 固定資産の減損、訴訟費用、有償契約は含みません

添付資料

2018年第3四半期までの事業別売上高

	グループ 事業合計	ゾーン AMS	ゾーン EMENA	ゾーン AOA	ネスレ ウォーターズ	その他の 事業
売上2018年1-9月 (100万スイスフラン)	66,424	21,918	13,731	15,799	6,127	8,849
売上2017年1-9月 (100万スイスフラン) *	65,124	22,569	13,241	15,331	6,093	7,890
実質内部成長率	2.3%	0.8%	2.3%	3.7%	-0.2%	5.7%
プライシング	0.5%	0.6%	-0.7%	0.7%	2.3%	0.3%
オーガニックグロース	2.8%	1.4%	1.6%	4.4%	2.1%	6.0%
買収・売却	0.1%	-1.1%	-0.1%	0.0%	-0.8%	5.4%
為替変動	-0.9%	-3.2%	2.2%	-1.3%	-0.7%	0.7%
売上伸長率	2.0%	-2.9%	3.7%	3.1%	0.6%	12.1%

* 2018年1月1日から、ネスレニュートリションは地域管轄の事業として各ゾーンに含めて報告し、Gerber生命保険事業はその他の事業に含めて報告しています。比較する2017年の売上は、主に上記の事業の管轄の変更と、IFRS(国際会計基準)第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用に伴う収益計算に関する新たな会計基準を反映するため修正しています。

2018年第3四半期までの製品別売上高

	グループ 事業合計	粉末・ 液体飲料	ウォーター	乳製品 アイス クリーム	ニュートリション& ヘルス サイエンス	調理済み 食品 調理用食品	菓子	ペットケア
売上2018年1-9月 (100万スイスフラン)	66,424	15,388	5,765	9,758	11,905	8,716	5,542	9,350
売上2017年1-9月 (100万スイスフラン) *	65,124	14,732	5,700	9,880	11,189	8,601	5,974	9,048
実質内部成長率	2.3%	2.3%	0.0%	0.8%	4.8%	1.0%	3.0%	3.2%
プライシング	0.5%	0.6%	2.4%	0.8%	-0.4%	0.1%	-1.0%	0.8%
オーガニックグロース	2.8%	2.9%	2.4%	1.6%	4.4%	1.1%	2.0%	4.0%

* 2018年1月1日から、ネスレニュートリションは地域管轄の事業として各ゾーンに含めて報告し、Gerber生命保険事業はその他の事業に含めて報告しています。比較する2017年の売上は、主に上記の事業の管轄の変更と、IFRS(国際会計基準)第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用に伴う収益計算に関する新たな会計基準を反映するため修正しています。